

あひら夏！うまかまつり

平成21年から始まった「あひら夏！うまかまつり」。アサヒメロン・はやきた和牛などご当地の『美味か』、太鼓やダンスが「上手か」、馬産地の「馬か」の3つの『うまか』が融合した安平町のメインイベント。ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止になっていますが、今年開催できることを期待しています。

例年は、アサヒメロンの早食い競争やポニーサイクルGPなど、ご当地ならではの企画がイベントを盛り上げるほか、特に1日目の花火大会、2日目のタレントショーはメインイベントとして見どころです。

うまかまつり担当の商工観光課 横谷主幹に話を聞くと「約3万人が来場するため、密の回避や検温などどのような新型コロナウイルス感染症の感染対策を行えば開催できるのかを検討しています。これまでのように賑やかで町民の皆さんが心から楽しめる『うまかまつり』を開催できる日が来てほしい」と話してくれました。



◀北大生「縁」
平成23年広報あひら8月号



▼ポニーサイクル
平成27年広報あひら8月号



◀メロン早食い競争
平成28年広報あひら8月号



ダンスや演奏など
平成29年広報あひら8月号



▲ミニSL
平成21年広報あひら8月号



▲まつりに関わった裏方の様子
平成29年広報あひら8月号
陸上自衛隊の隊員が主にテントやテーブル、椅子などの物品を運ぶ。
北大生「縁」の皆さんがまつりの運営に携わったり、ごみの分別をしていました。

特集を組んでみて

昔のまつりと現在のまつりについてご紹介しました。

当時の早来町と追分町のまつりは、町外の参加者を呼び寄せるかに違いがあったのかなと思いました。しかし、町民、役場職員など多くの方々との協力しながら作り上げるまつりというのは、達成感があるんだなど。私は、コロナ禍の中で役場に採用されたため、町内のまつりの臨場感や雰囲気はまだ体感できていません。会場の賑わい、参加者の笑顔溢れる“まつり”を感じたいです。